

2. 中小企業の現状

(1) 白山市の人口

(現状、将来の見通し)

日本の総人口は2007年(平成17年)に1億2,777万人となり、以後は減少に転じています。

また、本県の人口は1999年(平成11年)の118万4千人をピークに、以降は減少に転じ、2040年(平成52年)には100万人を割り込むと推計されています。

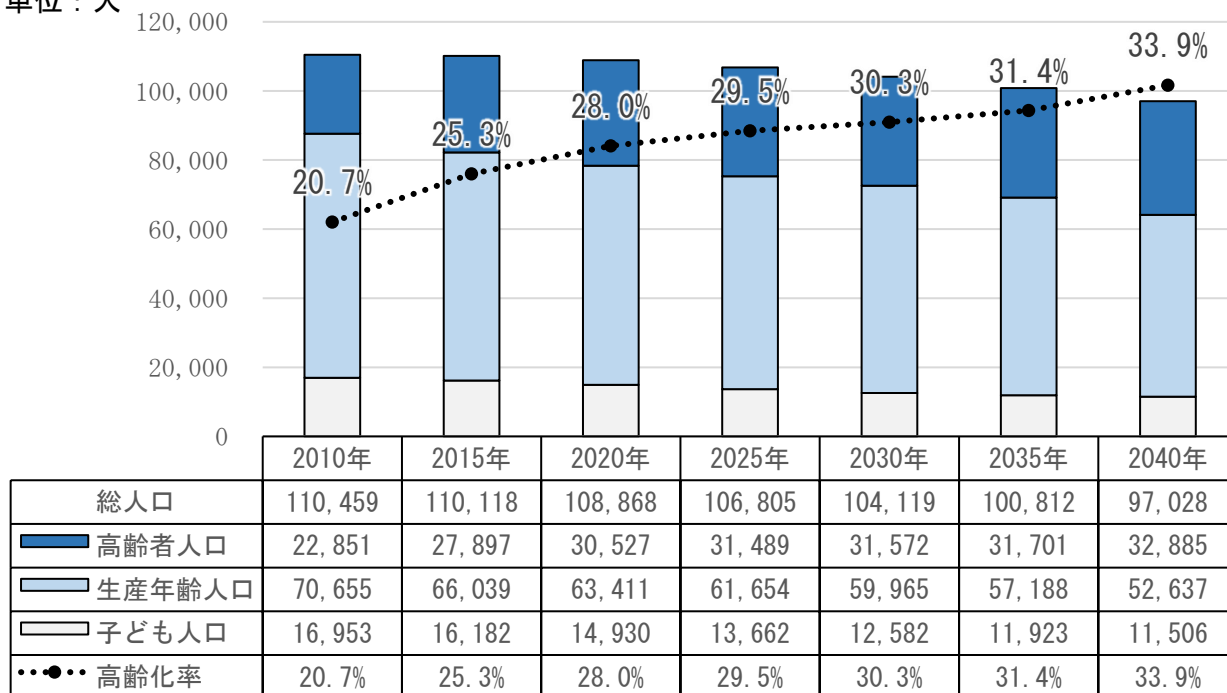
本市の将来人口については、2040年(平成52年)には同じように約13,400人が減少すると見込まれています。

特に、生産年齢人口(15歳以上65歳未満の人口)の大幅な減少は経済の縮小と税収の低下につながります。

また、高齢者人口(65歳以上の人口)割合の上昇は、社会福祉や社会保障に係る費用の増大につながり、大きな財政負担となります。

白山市の将来推計人口

単位：人



出典：国立社会保障・人口問題研究所

※2010年と2040年の比較

総人口	約13,400人	減少
(内訳) 子ども人口	約5,400人	減少
生産年齢人口	約18,000人	減少
高齢者人口	約10,000人	増加

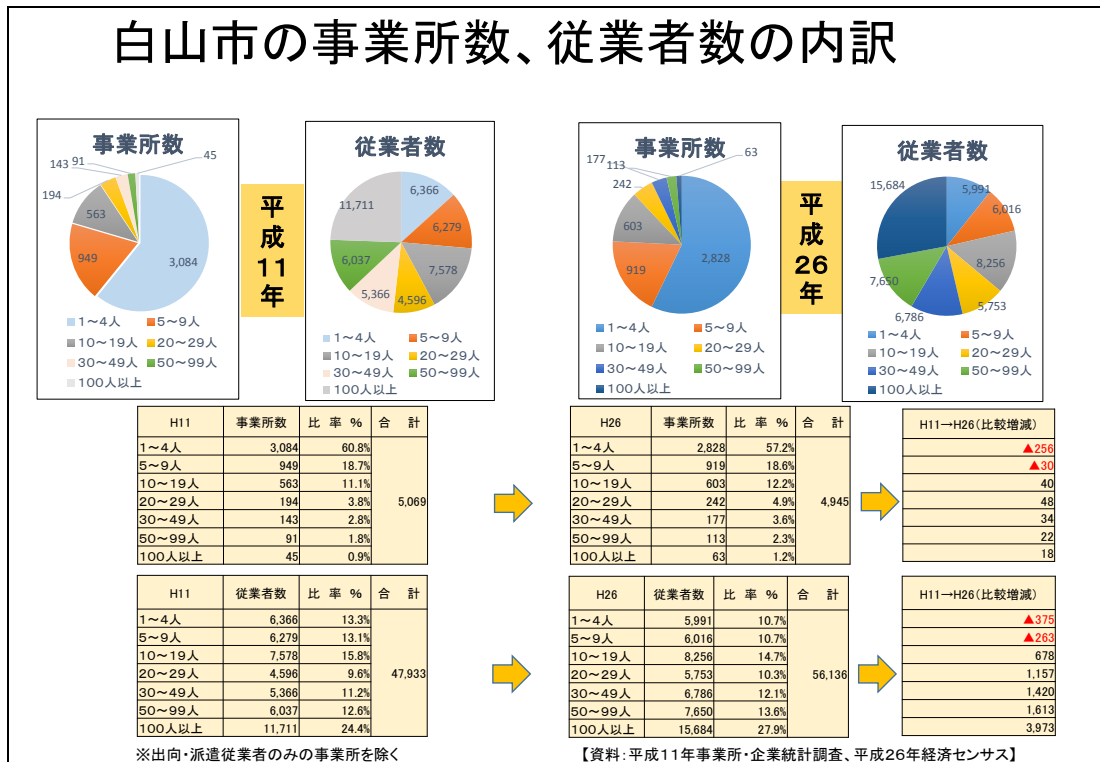
(2) 白山市の産業

(統計資料からみた現状)

①事業所数、従業者数

1999年(平成11年)の事業所・企業統計調査と2014年(平成26年)の経済センサスの結果を比較すると、**事業所数は減少**(5,069事業所→4,945事業所)していますが、**従業者数は逆に増加**(47,933人→56,136人)しています。

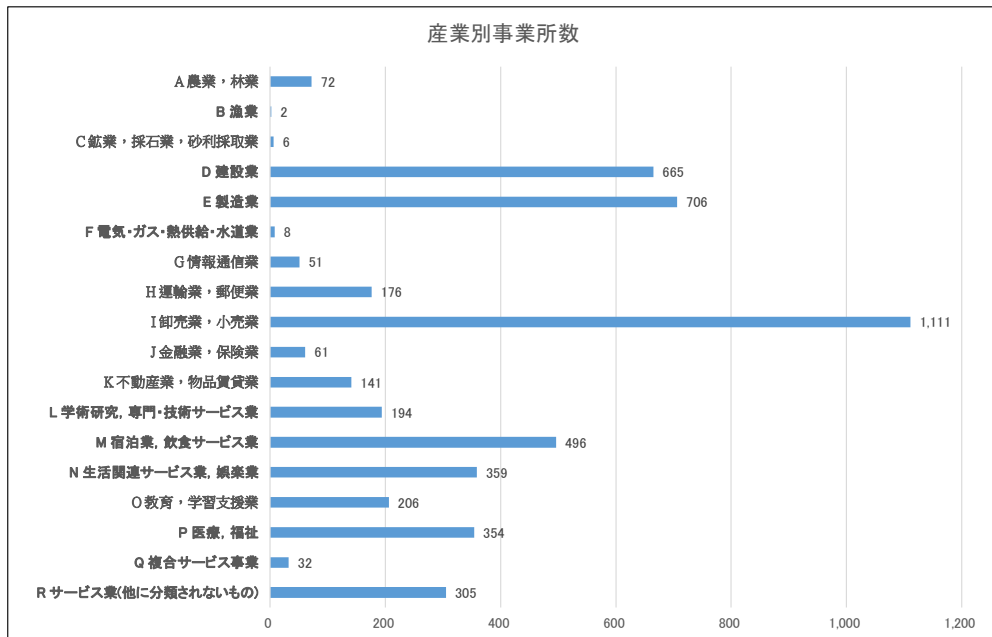
従業員数100人未満の事業所が98.7%を占め、従業員10人未満の小規模事業所・従業員数の減少が著しいことがわかります。



②産業別事業所数、産業別従業者数

2014年(平成26年)の経済センサスの結果では、**事業所数では「卸売業・小売業」が最も多く**、次いで「製造業」、「建設業」の順で多くなっています。一方、**従業員数では、「製造業」が最も多く**、次いで「卸売業・小売業」、「医療・福祉」の順で多くなっています。

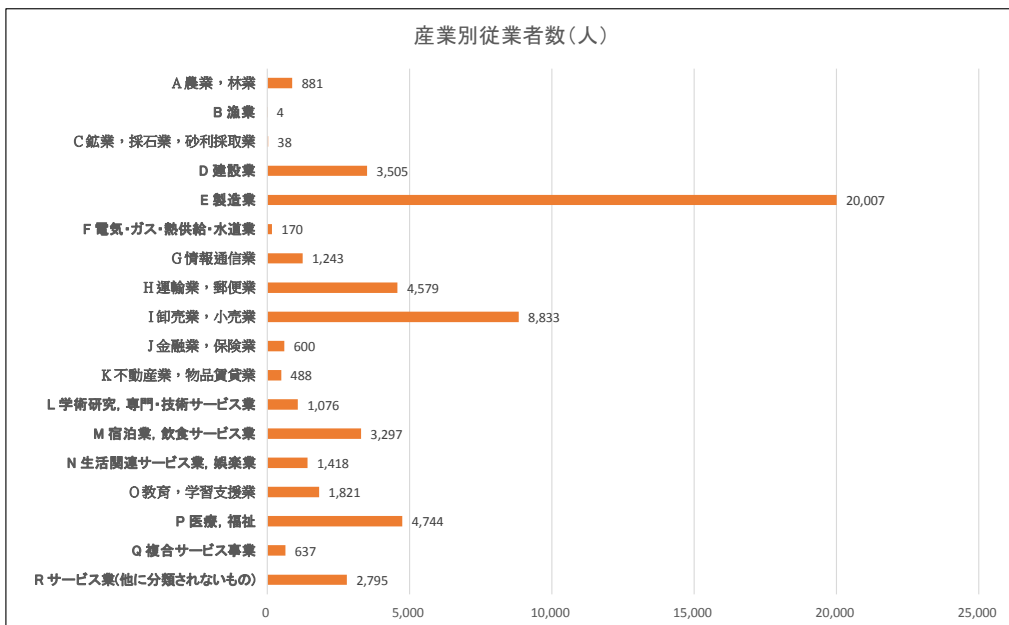
産業別事業所数



※出向・派遣従業者のみの事業所を除く

【資料:平成26年経済センサス】

産業別従業者数



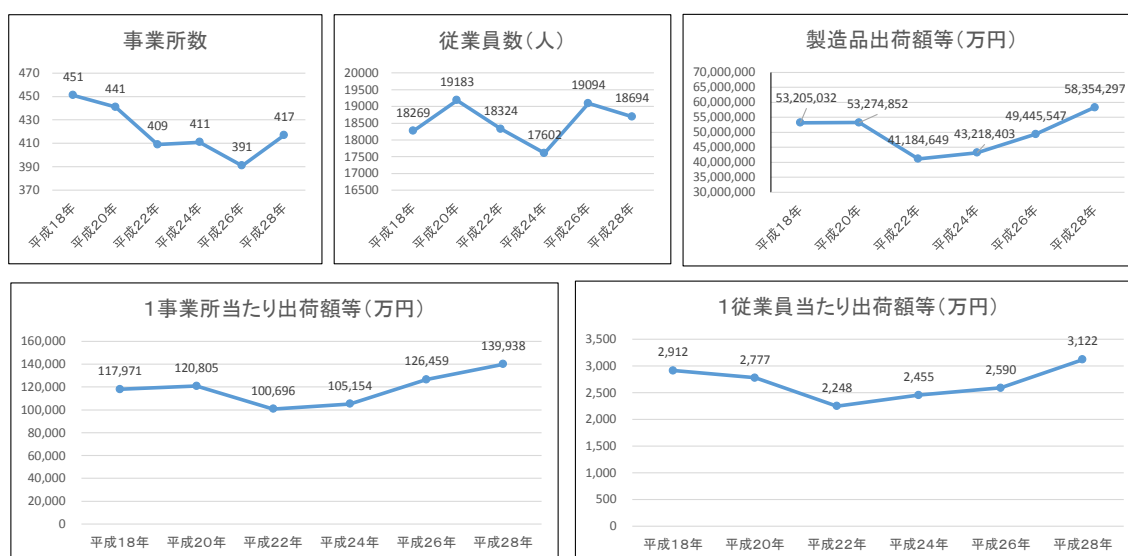
【資料:平成26年経済センサス】

③工業の推移

2006年(平成18年)の工業統計から2016年(平成28年)の経済センサス活動調査までの推移によれば、**事業所数**(451事業所→417事業所)と**従業者数**(18,269人→18,694人)は増減を繰り返す一方で、**製造品出荷額**(532,050百万円→583,542百万円)は増加傾向にあります。

2008年(平成20年)のリーマンショック以降、製造品出荷額の落ち込みが見られましたが、近年は回復してきており、雇用も改善していることが分かります。

工業の推移

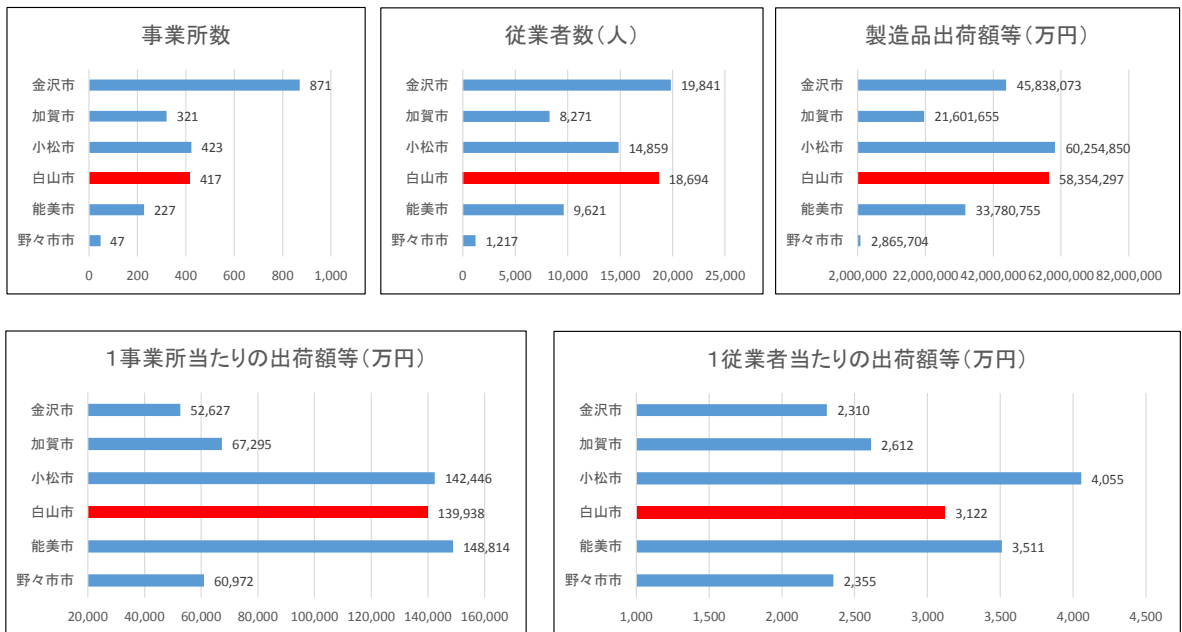


【資料：平成28年経済センサス活動調査】

④工業規模（近隣市との比較）

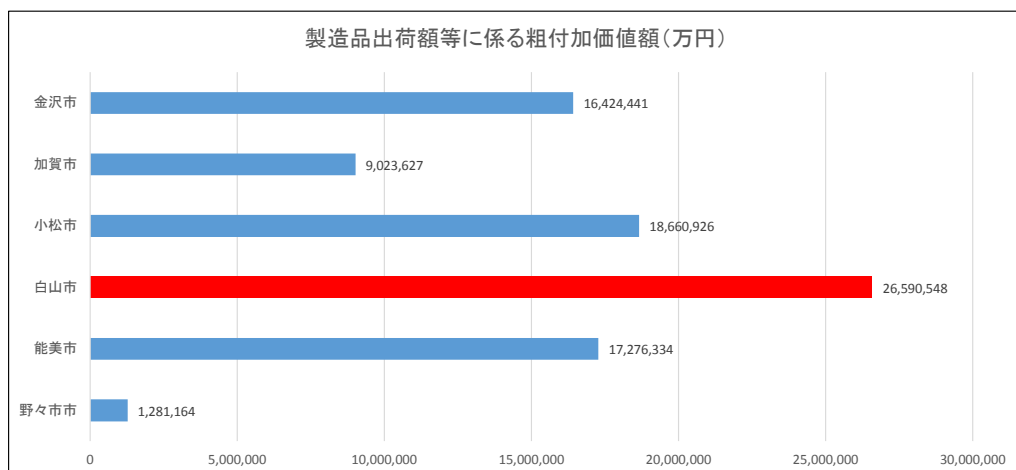
2016年(平成28年)の経済センサス活動調査によれば、県内近隣市の中では、**事業所数は3番目、従業者数・製造品出荷額は2番目に多く、また、製造品出荷額に係る粗付加価値額は最大**です。

工業規模の比較(対近隣市)①



【資料:平成28年経済センサス活動調査】

工業規模の比較(対近隣市)②

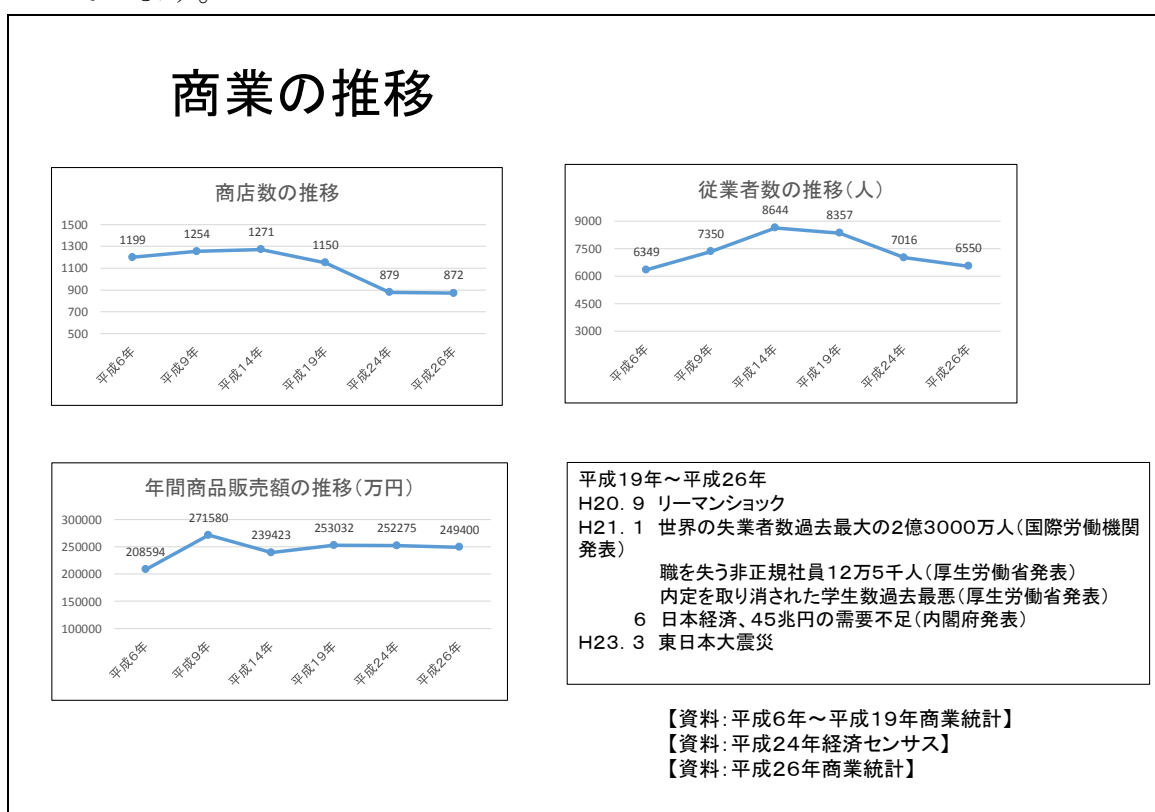


【資料:平成28年経済センサス活動調査】

⑤商業の推移

1994年(平成6年)から2007年(平成19年)までの商業統計、2012年(平成24年)の経済センサス、2014年(平成26年)の商業統計によれば、2002年(平成14年)をピークとして**商店数・従業者数とも減少傾向**にあります。特に平成19年度から平成24年にかけて商店数が大きく減少しています。工業の推移でも見られましたが、2008年(平成20年)頃からの世界的な不況に加え、日本国内での需要不足、東日本大震災等の影響が考えられます。

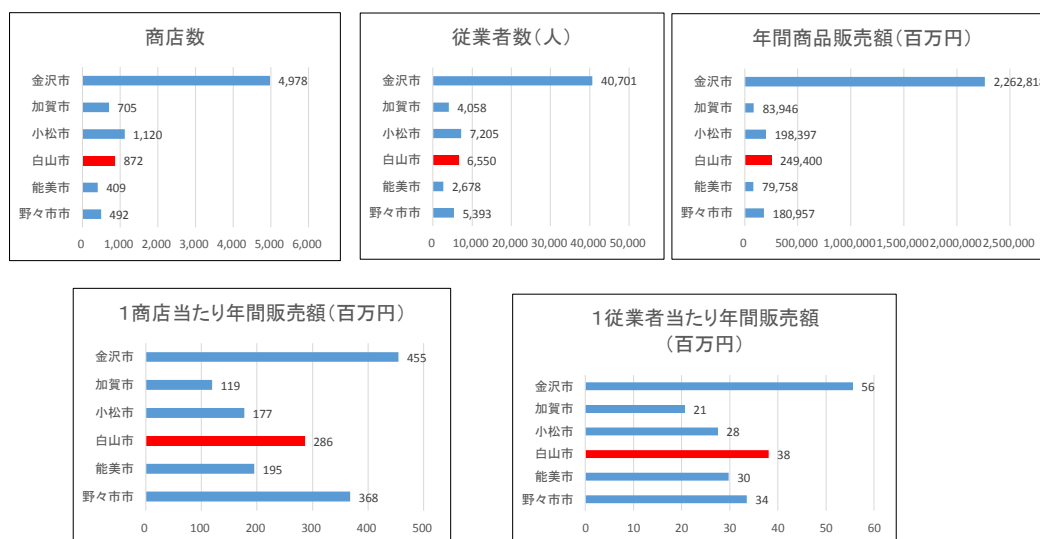
年間商品販売額の推移は横ばいを維持しています。北陸新幹線の開業等の経済効果を今後の商品販売額の伸びに結びつける施策の充実が求められています。



⑥商業規模 (近隣市との比較)

2014年(平成26年)の商業統計によれば、**商店数・従業員数では**、金沢市、小松市に次いで**3番目**、**年間商品販売額では**金沢市に次いで**2番目**です。

商業規模の比較(対近隣市)



【資料:平成26年商業統計】

⑦消費者の購買動向

2014年(平成26年)の商業統計、石川県の人口と世帯(石川県統計情報室調べ)の結果を参照して算出した地元購買率では101.2%となっており、潜在購買力の流出入はあまり顕著ではありません。

また、第二次総合計画策定のための資料とするため、白山市が2015年(平成27年)に独自で実施したアンケート調査(15~80歳の市民10,000人を無作為に抽出して実施、回答率28.3%)では、**日用品や食料の買い物は81%の消費者が白山市で行う一方、週末(休日)の買い物をはじめ、レジャー・レクリエーションや音楽会・観劇・映画鑑賞などのため、市外で行動する消費者が多い傾向**にあります。

日用品や食料を購入する商店は、ほぼ消費者の需要に見合う販売額の実績をあげていますが、週末(休日)の買い物や娯楽等に関しては、消費者の需要に応えられる商業展開がされていないことがわかります。「日常生活に必要な消費」プラス「休日の娯楽のための消費」両方の喚起が必要といえます。

消費者の購買動向 ～地元購買率

自治体名	地元購買率※
金沢市	109.1%
加賀市	92.6%
小松市	97.4%
白山市	101.2%
能美市	55.3%
野々市市	163.6%
石川県平均	93.3%

※市町村の住民1人当たりの年間小売販売額÷県民1人当たりの年間小売販売額の式で表され、数値が高いほど購買力の流入が大きい。

【資料：年間小売販売額は「平成26年商業統計」、人口は「石川県の人口と世帯」を参照】

消費者の購買動向～日常生活での行動地域

①日用品や食料の買い物

白山市内 81%（野々市市9%、金沢市4%、川北町4%）

②週末(休日)の買い物

白山市内 58%（金沢市21%、野々市市12%、川北町3%）

③レストラン等での飲食

白山市内 41%（金沢市34%、野々市市17%）

④レジャー・レクリエーション活動

白山市内 32%（金沢市24%、野々市市3%）

⑤音楽会・観劇・映画鑑賞など

白山市内 5%（金沢市63%、野々市市13%）

【資料：独自のアンケート(第二次白山市総合計画策定に向けた基礎的資料とするため)】

⑧産業の特徴（シェア日本一の企業は？）

ギネス石川 2017 によれば、**製造業において、国内・世界において高いシェアを占める企業**があります。

特定の分野において圧倒的な市場シェアを占めるニッチ・トップ企業は市場の拡大とともに大きく飛躍する可能性を秘めています。

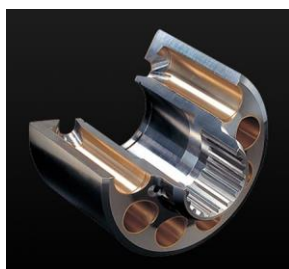
部品製造から完成品製造まで幅広い企業が立地しており、それぞれが強みを生かした事業を展開しています。各業界のトップレベルの技術を持つ企業が集積していることから、「ものづくり」の強さが白山市の産業の大きな特徴となっています。

産業の特徴～シェア日本一～

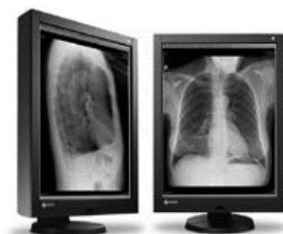
企業名	生產品目	国内推定シェア (企業自己申告)
(株)明石合銅	ボア溶着タイプのバイメタル・シリンダブロック	70%
(株)アクトリー	産業廃棄物等の処理装置	15～30%
アサヒ装設(株)	業務用食品加工機器	70%
石川技研工業(株)	建築金物用ステンレスクラッドパイプ	50%
(株)稲本製作所	業務用水洗脱水機・乾燥機	50%
EIZO(株)	医用画像表示用モニター	70%(世界30%)
	カラーマネージメントモニター	70%(世界20%)
オリエンタルチエン工業(株)	超小型チェーン	100%
(株)金沢村田製作所	表面波デバイス	世界50%
(株)木地リード	エアージェット機用プロファイルリード	50%
昭和精工(株)	CNCドリルマシン(平鋼材用)	60～70%
	カッターマシン(5種切断複合機)	70～80%
田村総業(株)	ダンプの自動シート開閉機	70%
中村留精密工業(株)	自動レンズ芯とり機	30～40%
(株)BBS金明	ウェーハエッジポリッシングマシーン	世界90%
(株)フェローテックセラミックス	快削性セラミックス	60%

【資料:ギネス石川2017】

産業の特徴～参考画像～



(株)明石合銅
バイメタル・シリンダーブロック



(株)EIZO
医用画像表示用モニター



オリエンタルテエン工業(株)
超小型チェーン



(株)BBS金明
ウェーハエッジポリッシングマシン

⑨産業の特徴（就業率）

2015年(平成27年)国勢調査によれば、北陸は**女性の就業率が高く**、その中においても白山市は石川県全体の就業率を上回っています。就業率の推移を男女別に比較した場合、全国の統計では男女とも就業率が低下傾向にありますが、白山市においては女性の就業率は横ばいであり、相対的に女性の就業者の比率が上昇しています。

市全体の人口が減少傾向にあり、しかも、15～64歳の生産年齢人口の減少は今後の経済にとって深刻な問題となるだけに、女性が働きやすい環境を整備することは極めて重要です。

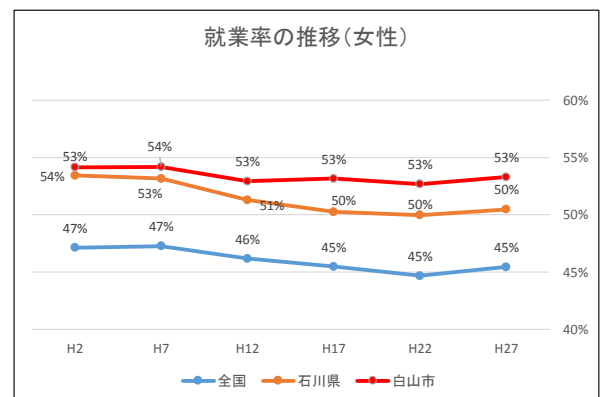
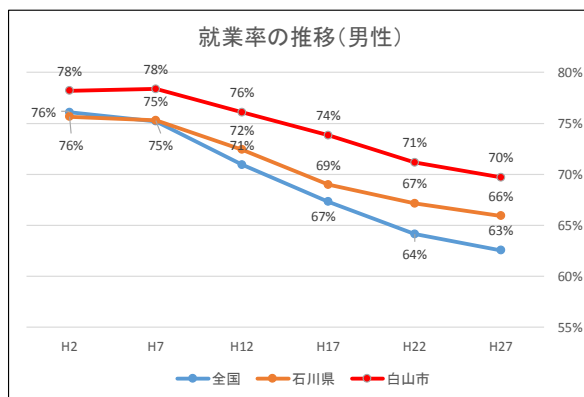
現在、国が進めている施策である「女性が活躍できる社会」を、就業率の面では他の地域より先行して実現していると考えられます。

産業の特徴～女性就業率～

自治体名	都道府県順位	就業率(%)
金沢市	-	49.9%
小松市	-	52.9%
加賀市	-	50.9%
白山市	-	53.3%
能美市	-	54.0%
石川県	3位	50.5%
福井県	1位	51.7%
富山県	4位	50.1%
全国平均		46.6%

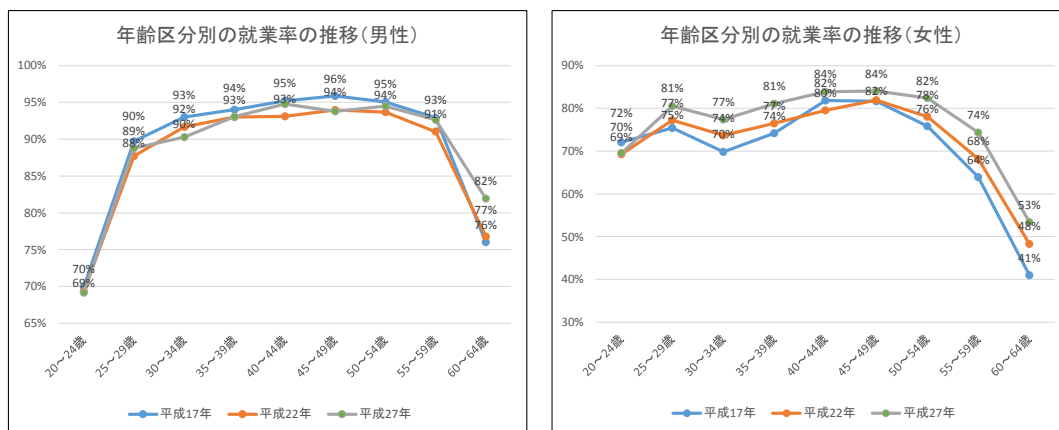
就業率＝女性就業者数÷女性15歳以上人口
【資料：平成27年国勢調査】

産業の特徴～就業率の推移(男女)～



就業率＝15歳以上就業者数÷15歳以上人口
【資料：平成27年国勢調査】

産業の特徴～就業率の推移(市)～



年齢区別の就業率＝年齢区別就業者数÷年齢区別の15歳以上人口
【資料：平成27年国勢調査】

(3) 白山市の中小企業

(アンケートからみた現状)

市では、平成27年5月に、企業の経営基盤の安定・強化を図るために求められている支援策を把握するとともに、計画づくりに反映させていくことを目的として、市内企業1,000社を対象にアンケート調査を実施しました。

回答のあった416社の現状と課題をとりまとめるとともに、中小企業の振興策について商工会議所・商工会と協議する際の基礎資料としました。

アンケート結果の概要は以下のとおりです。

1 調査概要

(1) 目的

白山市内に立地する企業の経営基盤の安定・強化を図るために、どのような支援施策が求められているのかを把握するため実施。

(2) 調査方法等

調査対象: 本市に立地する企業
調査方法: 郵送調査(無作為抽出)
調査期間: 平成27年5月14日～平成27年5月28日

(3) 回答数

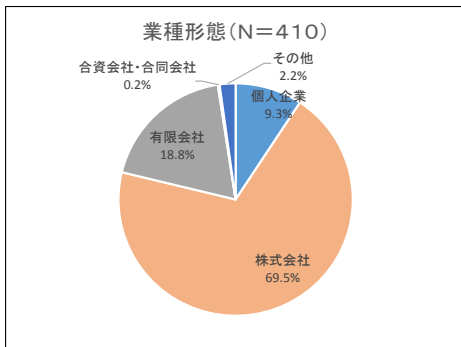
調査対象者数	1,000
回答者数	416
回収率	41.6%

2 調査結果～事業所の概要～

問1 企業概要を記入してください。

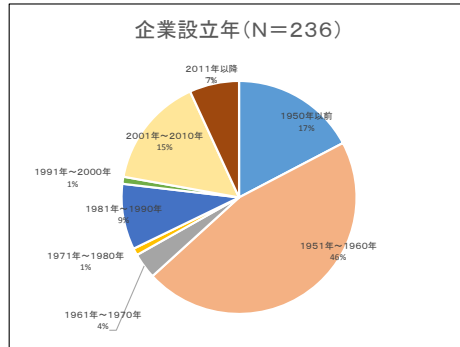
問2 業種形態について、該当する番号に○をつけてください。

「株式会社」・「有限会社」で全体の約90%を占めている。



問3 企業設立年について該当する番号に○をつけてください。

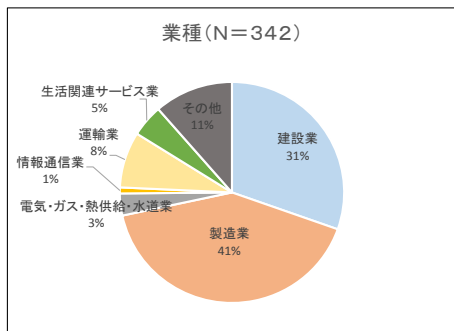
1960年以前に設立の事業所が全体の約60%を占めている。



調査結果～事業所の概要～

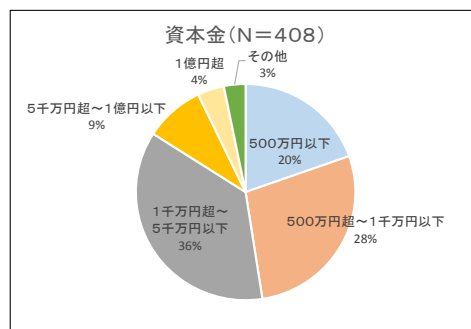
問4 業種について、該当する番号に○をつけてください。

「製造業」が最も多く、次に「建設業」の順となっている。



問5 資本金の額について該当する番号に○をつけてください。

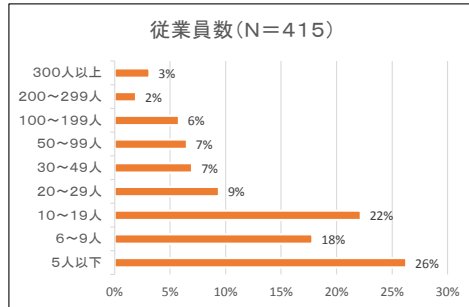
5千万円以下の事業所が全体の84%を占めている。



調査結果～事業所の概要～

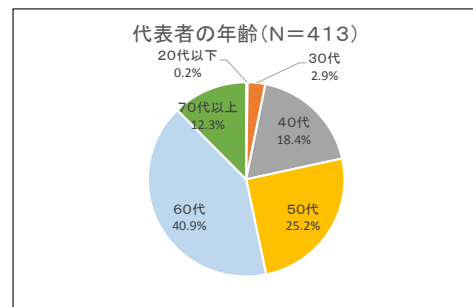
問6 従業員数について、該当する番号に○をつけてください。

「5人以下」が最も多く、次に10人～19人が多い。



問7 代表者の年齢について、該当する番号に○をつけてください。

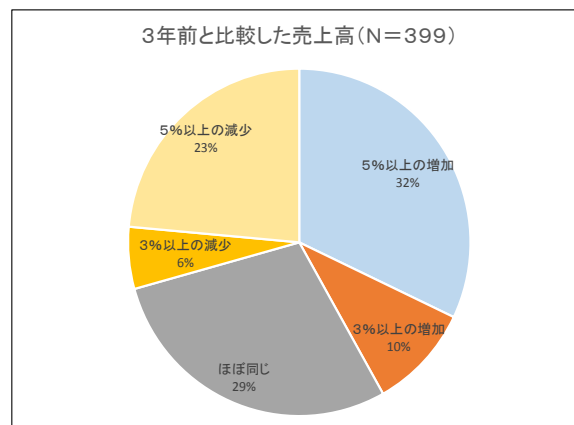
「60代」が最も多く、60代以上が全体の過半数を超えている。



3 調査結果～経営状況について～

問8 3年前と比較した売上高について該当する番号に○をつけてください。

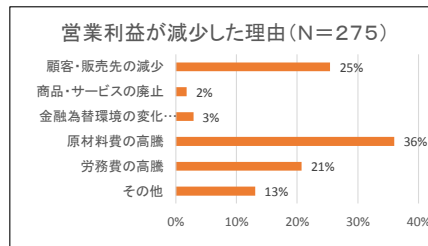
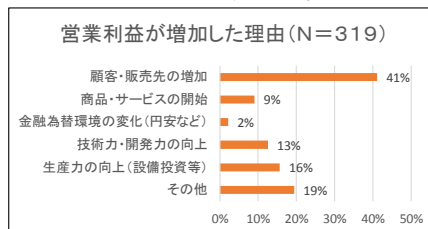
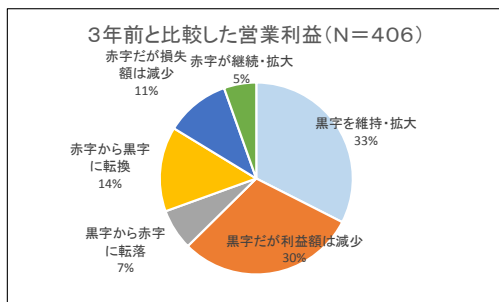
「5%以上の増加」が最も多く、全体で見ると減少した割合より増加した割合が多い。



調査結果～経営状況について～

問9～11 3年前と比較した営業利益について該当する番号に○をつけてください。また、減少・増加した理由についてお答えください。

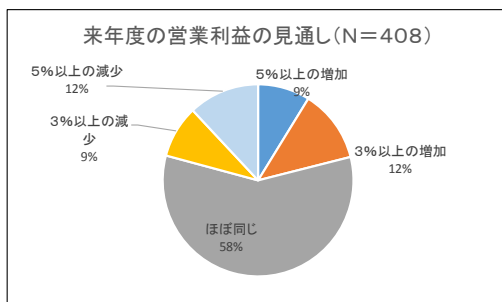
「黒字を維持・拡大」が最も多く、全体的に収益が改善している企業が過半数を超えている。その理由としては「顧客・販売先の増加」が最も多く、減少した理由としては、「原材料費の高騰」が最も多くなっている。



調査結果～経営状況について～

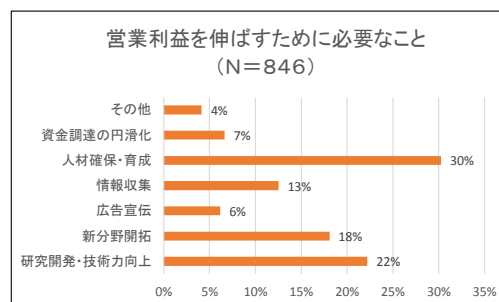
問12 来年度の営業利益の見通しについて該当する番号に○をつけてください。

「ほぼ同じ」が約60%を占め、増加・減少の割合は同じである。



問13 今後、売上や営業利益を伸ばすために必要と思われることについて該当する番号に○をつけてください。(○は3つまで)

「人材確保・育成」が最も多く、次に「研究開発・技術力向上」、「新分野開拓」の順となっている。



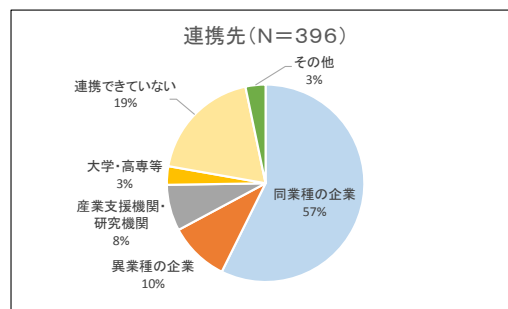
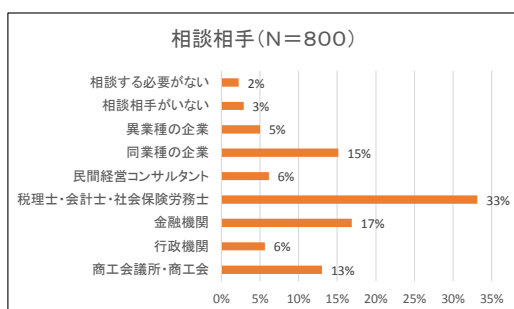
調査結果～経営状況について～

問14 経営上の課題解決のための相談相手に該当する番号に○をつけてください。(○は3つまで)

問15 事業の連携先について該当する番号に○をつけてください。

「税理士・会計士・社会保険労務士」が最も多く、「行政機関」は6%となっている。

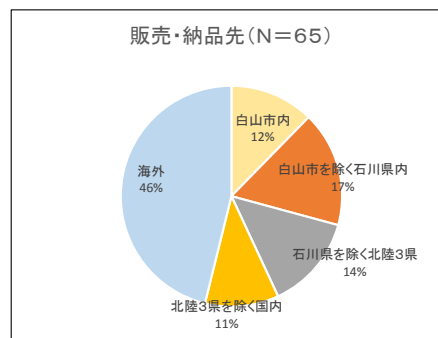
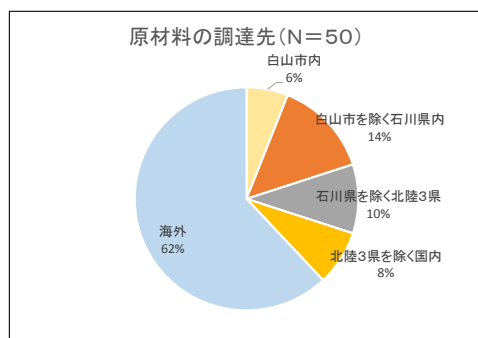
「同業種の企業」が最も多く、「連携できていない」が19%となっている。



調査結果～経営状況について～

問16～17 製造業の方のみ回答
原材料調達先、販売・製品納入先について内訳を教えてください。

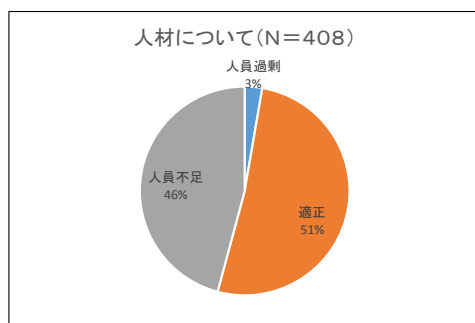
調達先については、「海外」が約60%を占め、「市内」は6%となっている。
また販売・納品先についても「海外」が最も多く、白山市以外は88%となっている。



4 調査結果～人材について～

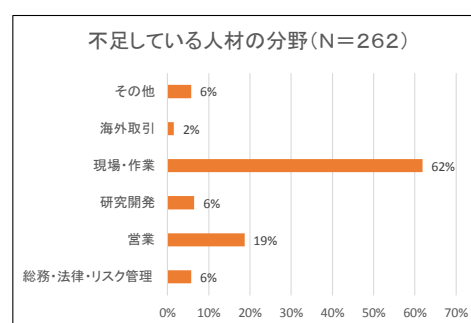
問18 雇用の充足感について該当する番号に○をつけてください。

「適正」、「人員不足」がほぼ同じ割合となっている。



問19 問18で不足していると回答された方は、不足している人材の分野について該当する番号に○をつけてください。(○は3つまで)

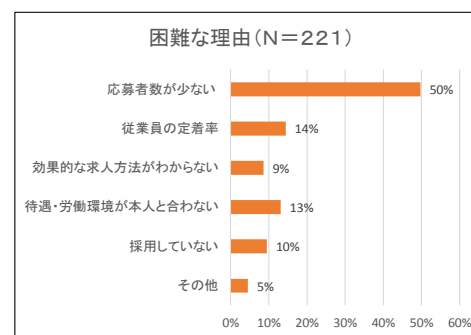
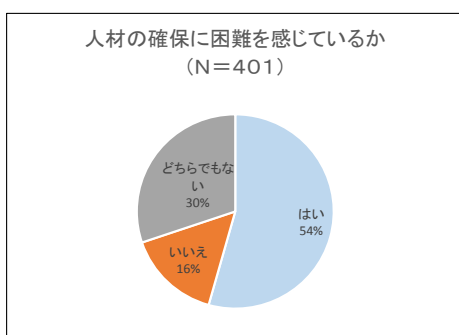
「現場・作業」が最も多くなっており、次に「営業」の順となっている。



調査結果～人材について～

問20～21 人材確保に困難を感じていますか。該当する番号に○をつけてください。また困難な理由をお答えください。

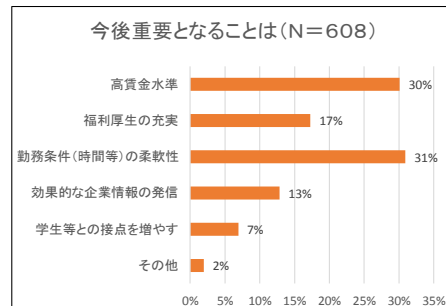
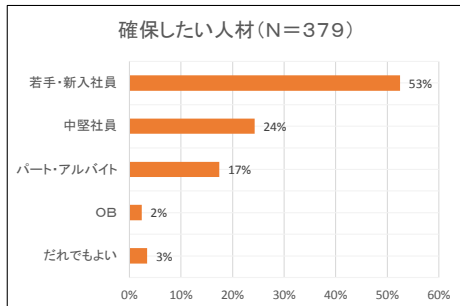
半数以上が困難であると感じており、その理由としては、「応募者数が少ない」が50%と最も多い。



調査結果～人材について～

問22～23 今後、確保したい人材はどのような人材が該当する番号に○をつけてください。また、人材を確保する上で重要となってくることはどのようなことだと思いますか。

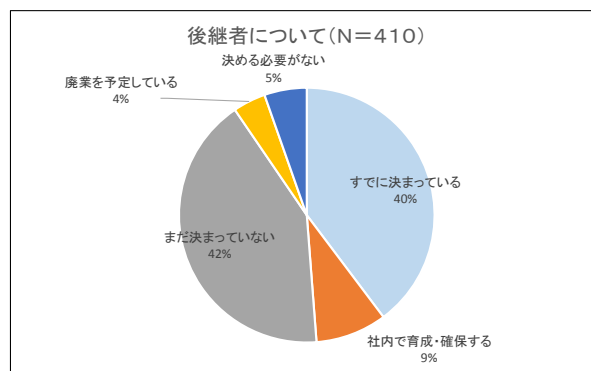
半数以上が「若手・新入社員」となっており、次に「中堅社員」の順となっている。また、今後、人材を確保する上で重要となることについては、「勤務条件の柔軟性」・「高賃金水準」がそれぞれ約30%となっている。



調査結果～人材について～

問24 事業の後継者について該当する番号に○をつけてください。

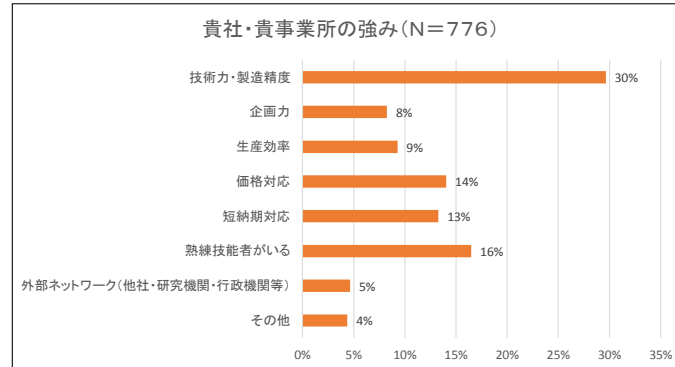
「すでに決まっている」・「まだ決まっていない」がほぼ同じ割合であり、「廃業を予定している」が4%となっている。



5 調査結果～事業の方向性について～

問25 貴社・貴事業所の強みについて、該当する番号に○をつけてください。(○は3つまで)

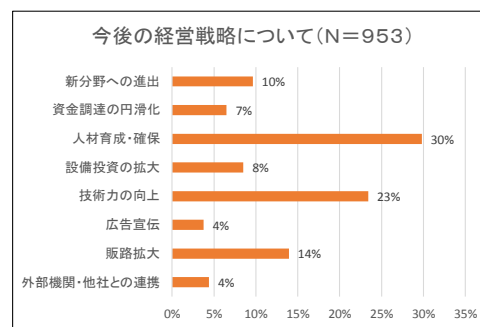
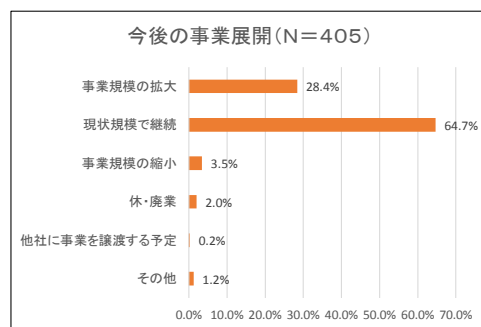
「技術力・製造精度」が最も多く、次に「熟練技能者がいる」の順となっている。一方、「外部ネットワーク」が5%となっている。



調査結果～事業の方向性について～

問26～27 今後の事業展開について該当する番号に○をつけてください。また、今後、事業展開を行う上で取り組むべき経営戦略について教えてください。(○は3つまで)

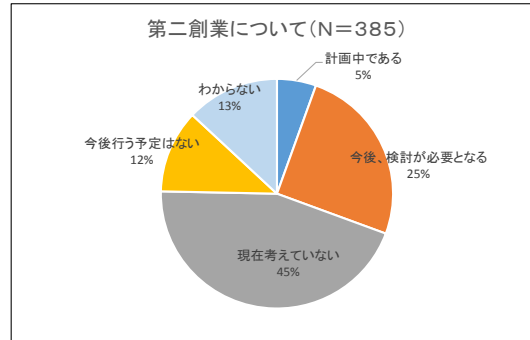
「現状規模で継続」が最も多く、今後「事業規模の拡大」は「事業規模の縮小」と比べ約8倍多くなってる。また、今後の経営戦略については、「人材育成・確保」が最も多く、次に「技術力の向上」となっている。



調査結果～事業の方向性について～

問28 第二創業(既に事業を営んでいる中小企業・小規模事業者において後継者が先代から事業を引き継いだ場合などに業態転換や新事業・新分野に進出すること)について、該当する番号に○をつけてください。

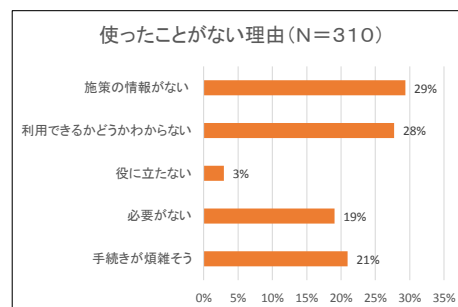
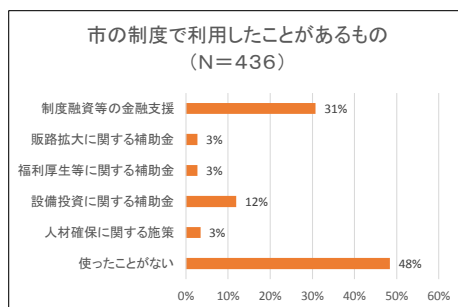
「現在考えていない」が45%と最も多く、次に「今後、必要となる」が25%の順となっている。一方、「計画中」は5%と最も少ない。



6 調査結果～活性化策について～

問29～30 市の商工労働施策で利用したことがある制度について該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)。また、「使ったことがない」理由についてお答えください。(○は3つまで)

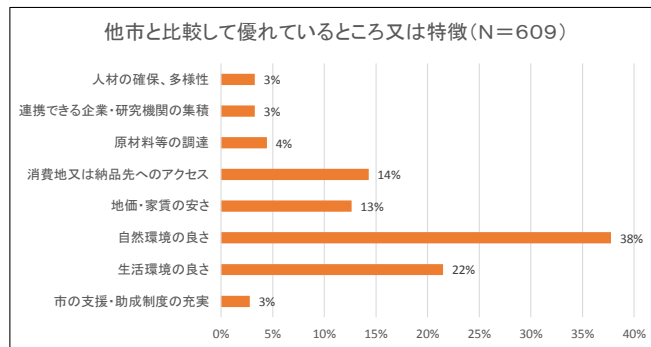
「使ったことがない」が48%で最も多く、次に「制度融資等の金融支援」が31%の順となっている。「使ったことがない」理由としては、「施策の情報が無い」が29%で最も多く、次に「利用できるかどうか分からない」、「手続きが煩雑そう」の順となっている。



調査結果～活性化策について～

問31 白山市が他市と比較して優れている又は特徴と思われるものに○をつけてください。(○は3つまで)

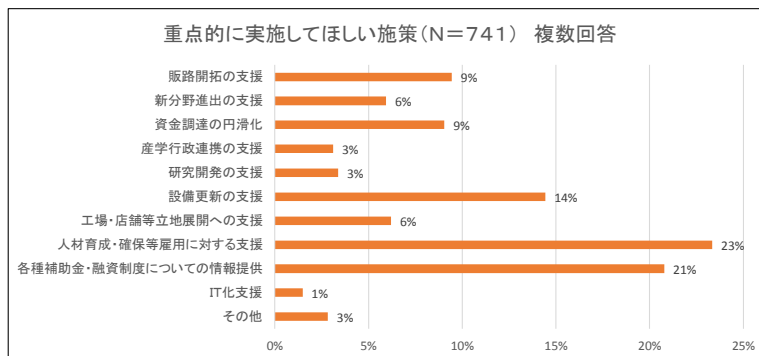
「自然環境の良さ」が38%で最も多く、次に「生活環境の良さ」が22%の順である。一方、「市の支援・助成制度の充実」は3%で最も少ない。



調査結果～活性化策について～

問32 今後、市に重点的に実施してもらいたい商工労働施策について、該当する番号に○をつけてください (○は3つまで)

「人材育成・確保等雇用に対する支援」が23%で最も多く、次に、「各種補助金・融資制度についての情報提供」が21%の順となっている。



7 調査結果～市に期待すること、求めること～

今後、市に期待する施策、求めること等についてご自由にご記入ください。

- 市外・又は県外へ出た若者が戻ってくるような施策
- 特徴のある小規模の店舗が少ない。若手の力を引き出し、街の活性化につなげてほしい。
- 小規模事業者や自営業者が長く地域で活動できるよう、経営の支援や指導をしてもらいたい。
- 商店街がシャッター街となりつつある。市全体が活性化してもらいたい。
- 補助金や申請方法の情報がほしい。
- 産学金官の連携強化やワンストップサービスの開始。市全体で協力体制を作るべき。